

特集

第7回

世界合唱シンポジウム

in京都

3年に一度、世界中の合唱を愛する人々が一同に会し、合唱音楽の芸術性を高め、世界の合唱人との交流を図ることを目的として開かれる「世界合唱シンポジウム」の第7回大会が古都・京都で開催されました。日本開催が決まってからの数年間、前回アメリカ大会からの3年間、本当に日本で出来るのかという不安の声と、待ちに待っているときのワクワクする高揚感が混ざり合った複雑な心境で、月日の流れていくのを見守っていたのが嘘のような、一瞬の輝きを残して、一週間と言う濃密な時間が過ぎていきました。3ヶ月が経とうとする今でも目にするもの音に聞くことがフワフワとしていることがあるほどその輝きは強烈な印象を残しています。

カノンでも、少しでもその場の雰囲気を感じようと現地泊一泊に往復行程を入れて「一泊四日!」という強行ツアーを決行。総力取材を敢行しました。今号ではその模様を中心にお伝えします。

世界合唱シンポジウム

弾丸ツアー記

田中実事務局次長＝投稿

7月28日(木)から8月3日(水)の一週間、京都では世界各地から招かれた合唱団の素晴らしい歌声と、合唱を愛する人々の熱気で溢れた。神奈川県連事務局でも、次長の鈴木章司の甘い誘惑(「玄関まで送り迎え付き・運転は全部私が・宿泊手配観光ガイドはお任せ」)に、一泊三日の強行スケジュールをすっかり忘れ、田中・鈴木・並木・福田・ブラスワンの5名で決行することになってしまった。

7月29日(金)の夕方、川崎の「ローソン小田五丁目店(私コンビニを経営しています)」にワンボックスカーが横付けされ、弾丸ツアーがスタートした。京都まで東名・名神高速を一直線。

午前2時半には到着し、24時間営業のファミレスを捜したが、全然見つからない。古都には似合わないコンビニの灯りだけがやけに目立つ。ここで発見、ローソンがやけに多い、次にセブンイレブン、あとは少々、さすが大阪が発祥のローソンだけのことはある。やっと見つけたサンデーサンで夜を明かす。

7月30日(土)、朝食もそこそこに宝が池の京都国際会館で9時から行なわれるワークショップ3日目に駆けつける。世界各地から集まった約300人でオープンシンギングの開始。公用語が英語なのでこれから始まるどのワークショップも全て英語で行なわれる。9割意味不明、時々解る単語が出てくる。でも合唱することになんの支障もない。楽しい1時間があっという間に過ぎてしまった。午前のワークショップは、指揮マスタークラスを受講することにした。講師のダーン＝オーロフ・ステーンランド(スウェーデン)による19世紀ヨーロッパの合唱曲を課題曲にした指揮法講習会。4人の生徒と、背中に「鱧煮」(=hamony?)とプリントしたブルーのTシャツのジャパンユース合唱団でレッスンが始まる。不思議なもので、朝より英語の理解できる部分が増えてきた。2拍子の曲が何曲もあり、1拍目と2拍目は、強さも方向も時間的なものも違うと何度も言われても、実際になるとなかなか出来ない。表現は、手と目と心と、あらゆるものを使って合唱団に伝えるものだ。肩は揺らすな。頭は動かすな。その他色々。その中で、生徒さんにも合唱団にも向けて一番多く出てきた言葉、それは「リメンバー」。練習で言われたことはすぐに忘れてしまう。先生と生徒の関係は、何処でも一緒だと安心した。

午後は、翌日行われる全日本ジュニアコーラス・フェスティバル2005の合同演奏のリハーサルを見学。熱い京都の一日が終わった。その後は京都の夏ならではの、鴨川の川床での鱧料理に舌鼓を打つ。

カノン51号主な内容

特集「世界合唱シンポジウム」

- ・合唱コンクール報告
- ・おかあさんコーラス全国大会結果 他
- ・コンサートガイド

そして、そのような解説をその夜のコンサートで
実演してくれたのです。バッハの演奏の最高のお手
本を見せてもらいました。私はキリスト教・聖書の
言葉に深く入る事が出来ないのでバッハをあまり演
奏していませんが、私も「演奏してみたいな」とい
う勇気を与えられました。素晴らしい演奏でした。

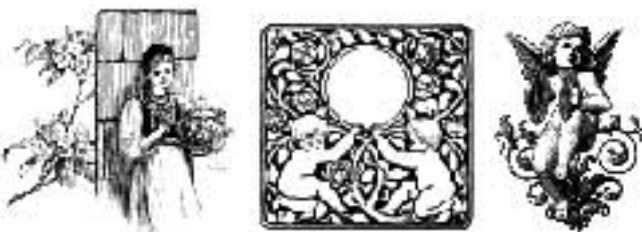
カノン相当

京都 北山にある有名な植物園の裏手に位置するこのホールは平安京建都1200年を記念して建てられ(鳴くよ鶯平安京。794年建都?)開館10周年を向かえた比較的新しいホール。京都市交響楽団がフランチाइズを置く。(このオーケストラは自治体直営のオケとして知られている。楽員の身分は「京都市非常勤嘱託員」つまり公務員)外観も内部の作りも高名な建築家磯崎新(いそざきあらた)氏による凝ったもので、大変素晴らしかった。大ホールは1800の客席を持つ「シューボックス型」、丁度みなとみらいホールを少し小さくした感じであろうか。これに約510席を持つ六角形の小ホールを併設する。

全日本ジュニアコーラスフェスティバルは、毎年夏に行なわれている文字通りジュニアコーラスの祭典だが、今回シンポジウムに合わせて全国から選りすぐりのジュニア団体と世界各地から招いた、これも実力派のジュニアコーラスのコラボレートとなった。余談だがジュニアコーラスの全国大会を、と全日本に先駆けて仕掛けたのは、誰だろう神奈川県合唱連盟であることは記憶にとどめておいて欲しい。

コンサートは日本の団体二つに海外の団体を一
つ合わせた3団体ずつのグループが、それぞれのレパ
トリーと3団体合同での演奏をして、最後に全体の
合同で松下耕さんがこのコンサートのために書き下
ろした「Dona nobis pacem(平和を我らに)」を自ら
指揮して締めくくる。

最後の全体合同ステージもまた、圧巻であった。客席とステージ、それにステージ裏のオルガン前席(通称P席)を使って合唱団を3郡に分けた大掛かりな曲だが、ごくシンプルな造りの中にも熱い盛り上がりや誰にでも体感できる佳曲で、事実、会場は興奮の坩堝となり拍手が鳴り止まない。予定にない？アンコールを演奏することとなり、同じ日に予定されているおかあさんコーラス大会に影響があったとか。この興奮を目の当たりに見ただけでも聴きに行った甲斐があったといえよう。



桑原特派員報告

昨年もお願した理事長の特派員報告。大変講評だったので？今回再登場となった。毎度のことだが桑原理事長の夏はとにかく忙しい。全国、いや全世界をまたにかけて飛び回り、あちこちにお出かけになっている。今年はシンポジウムのお陰でまた忙しかった様子。ということで、どうせ行くのだったらと本誌特別派遣編集員を再依頼（依頼料・原稿料無）したというか、お願いするより早く、レポートが出てまいりました。

そういえばシンポジウムの会場で、或いはコンサートホールで通訳兼司会者をしていたのは理事長のお嬢様、春子さんでした。親子揃ってお忙しかったのですね。

世界合唱シンポジウム レポート

☆オープニングガラコンサート

7月27日京都コンサートホール

雅楽《越天楽》、高橋悠治《クリマトーガニ》
声明：比叡山延暦寺、間宮芳生《合唱のためのコンポジション》より観請、池辺晋一郎《相聞Ⅲ》
祇園囃子、柴田南雄《北越戯譜》、鈴木輝昭《斉太郎節考》、小倉朗《ほたるこい》、松下耕《刈干切唄》、三善晃《ソーラン節》、坂本龍一《Cantus omnibus unus》

日本古来の文化と音楽、その間に現代作曲家の作品を織り交ぜ、国内を代表するレベルの高い合唱団の見事な演奏が繰り上げられました。特に多治見少年少女合唱団の北越戯譜はマリつき、お手玉、縄跳び等の動きに合わせた生き活きとした演奏で、海外から初めて日本を訪れたお客様には最大のプレゼントとなり、スタンディングの拍手が鳴り止みませんでした。

☆アフタヌーンコンサート

7月28日～8月3日京都コンサートホール

トルコ、ノルウエー、中国、ニューヨーク、韓国、グアテマラ、ドイツ、サンフランシスコ、オーストラリア、以上の海外の合唱団に加えて、日本からEST、なにわコラリアーズ、東京少年少女合唱隊+LSOT、VOX GAUDIOSAの演奏が行われました。

ノルウエーのオスロ室内合唱団は客席の回りの壁の前にメンバーが立ち、指揮者は客席中央の通路から指揮をしていました。全く時差のない、流れのある暖かい優しい音楽に会場全体がスッポリと包まれました。

各合唱団の演奏が長引き、午後の講座のスタートが必ず遅れてしまい、会場費の追加が連日35万円とか・・・でも素敵な音楽を沢山聴くことができてシアワセでした。

☆イブニングコンサート

7月28日～8月3日京都コンサートホール
コンゴ、インドネシア、デンマーク、カナダ、ノルウエー、ロシア、フィリピン、フィンランド
特に感激したのは、

コンゴのラ・グラース
とフィンランドのフィロメラでした。

コンゴはユニセフの支援を受けての来日で
終了後のパーティでは
CDは勿論、自分達の



連日素晴らしいコンサートが繰り
広げられたコンサートホール外観

衣装まで売って歩いていました。本当の音楽は生活に根ざしているもので、決してうわべだけのキレイゴトではないこと。彼らの演奏が聞く人々の心の奥深くまでグングン入ってくるすごさ。フィロメラは若い女声合唱団で、大らかな歌声と伸びやかな演奏で拍手が鳴り止まず、歌いながらロビーに出て行く彼女らに客席の殆どがついていきました。

☆スペシャルコンサート

7月28日、8月1日京都コンサートホール

バッハ・コレギウムジャパン、スコラ・ゴティア（スウェーデン）、BBCシンガーズ

バッハ・コレギウムもBBCも皆さんよくご存知なのでスコラ・ゴティアの印象を。グレゴリオ聖歌と14～15世紀の音楽をレパートリーとする4人の女声グループで、衣装も当時のレプリカで中世のスタイルを重視した演奏でした。こんなに軽やかに自由に歌えたら、さぞ気持ちが良いだろう、と聞き惚れました。「できれば教会で演奏したい」と希望が出たそうですが、京都ではチョット・・・。

☆クロージングガラコンサート

8月3日京都コンサートホール

黛 敏郎《涅槃交響曲》、J. ブラームス《運命の歌》、F. メンデルスゾーン《詩篇42》

涅槃は大友直人指揮、クール・ジョワイエ、なにわコラリアーズ、京都交響楽団で演奏され、シンポジウムの締めくくりにふさわしい、日本的な響きの音楽に若々しい男声の歌声がピッタリでした。ブラームス、メンデルスゾーンはベルニウス指揮、BBCシンガーズ、WSCMフェスティバルクワイア、京都交響楽団で演奏されました。フェスティバルクワイアにマルベリー・チェンバークワイアのメンバー14名が加わっていたので、ベルニウスの東京や京都でのレッスン等、見学し沢山のことを勉強させてもらいました。



☆コミュニティコンサート

7月28日～8月2日

京都、大阪、兵庫、八幡、奈良、他の会場で海外の合唱団+国内合唱団+関西の合唱団により、15回のジョイントコンサートが開催され、合唱を通じての国際交流が行われました。

小田原少年少女合唱隊はニューヨークヤングビープルズ+京都のモルゲンランツの3団体で長岡京市でジョイントし、アメリカ人の友人も沢山できて楽しい思い出となりました。

☆全日本ジュニア・フェスティバル

2005

7月31日京都コンサートホール

私は全日本のジュニア委員をしているので、前から企画に参加しました。国内40団体のエントリの中からは審査で選ばれた6団体に、アメリカ、韓国、中国が加わり9団体で開催されました。オープニングは「さくら」他2曲を四百名の子供たちが歌い、司会はジュニア委員の松下耕先生。京都、山梨、中国の3団体の単独演奏+中国の指揮者による合同演奏。愛知、小田原、韓国の3団体の単独演奏+韓国の指揮者による合同演奏。奈良、多治見、アメリカの3団体の単独演奏+アメリカの指揮者による合同演奏。最後にこのフェスティバルのために松下耕先生が作曲したDona nobis pacemを松下先生の指揮で全員で高らかに歌いました。三重合唱曲は9団体を3グループに分けて演奏されましたが、前日から合同練習ですっかり仲良くなった子供たちにとっては、まさに「音楽は世界の共通語」という言葉を身体で体験し、ともに平和を願う素晴らしい時間となりました。

開催前はあまりチケットが出ていない、と心配していましたが、たまたま雨が降ったので観光を取りやめた外国人も多く会場に姿を見せ、まさに国際色豊かなフェスティバルとなりました。



☆おかあさんコーラスコンサート

7月31日京都コンサートホール

日本独特の「おかあさんコーラス」の大会が、10団体により開催されました。ジュニアと異なり、各支部の支部長推薦により北海道、東北、関東、東京、中部、関西、中国、四国、九州、京都から1団体ずつの演奏でした。そのまま後半のシンポジウムに参加した方も多く、翌日乗ったタクシーで、「今までとお客様の層が変わりましたね」と言われました。

☆オープンシンギング

7月28日～8月3日京都国際会館

毎朝9時から45分間行われ、スウェーデンのゲイリー・グラデン講師を中心に会場に入りきれないほど人気のコーナーでした。シンポジウムのテーマ曲[Cantus omibus unus]が一番多く歌われました。初見で不協和音の多い曲に苦闘している姿も見かけましたが、外国人に囲まれて歌っていると、いかにも国際的に感じて大満足の姿のほうが多かったようです。



毎朝のオープンシンギングの会場は国際会議場の巨大なメインホール。とにかく歌う！



☆ワークショップ／セミナー

7月28日～8月3日京都国際会館

10時～12時、15時～17時。4会場で発声、指揮法、バッハ、ロマン派、ルネッサンス、ラテンアメリカ、アフリカ、東欧、アジア、シュニトケ、南太平洋、20世紀イギリス、ジャズ、バルト海、そして日本の合唱音楽について、多岐にわたり熱心に講座が開催されました。「英語で」がネックとなり、お話だけの講座からは日本人の姿が消え、言葉と関係なしに、「見て」、「やって」という講座は分るので人気があったようです。

過去最高の参加者数（4500人とか）のシンポジウムも大勢の方々の協力で無事に終わりました。県連のコンクールの審査をお願いした坂元勇仁先生はカゲのまとめ役で、さぞ大変だったろうと思います。参加者は会議場とコンサートホールを行ったり来たりでしたが、本来だったら各国に行かなければ聞けない演奏、普段だったら教えてもらえない内容の講座を受講することが出来て、「音楽浴三昧」の毎日でした。次回は3年後にデンマークで開催されるそうです。現在は「英語を勉強して是非参加しよう」と考えている日本人が大勢いるそうです。合唱の魅力を再認識させてくれたシンポジウムに感謝しつつ。



斬新なデザインの国立京都国際会議場



《桑原理事長特派員報告Ⅱ》

関西支部合唱コンクールレポート

9月23日(金・祝)に岸和田市立波切ホールで第58回全日本合唱コンクール関西支部大会の中・高校部門が開催され、審査員として参加しました。

☆参加校38校 中学校混声＝ 4校
同声＝ 17校
高校A ＝ 11校
B ＝ 6校

☆審査員7名 作曲家2名＝信長貴富
千原英喜
合唱指揮者5名＝佐藤陽三
杉山恭英、洲脇光一
浅井敬壹、桑原妙子

☆関東との相違点

- ①関西支部長の浅井先生と副支部長の鈴木先生が審査員として加わっている。
- ②支部大会にも学生指揮者が残っていて、そのうちの1名に学生指揮者賞が贈られた。
- ③発声が関東よりもカタメに感じた。
- ④高校部門にシード校がない。
- ⑤選択曲のF1を選んだ5校以外は全て邦人作品
- ⑥自由曲も2／3は邦人作品

終了時に「学生は自然な音楽と発声を意識して欲しい」と講評したことに対して、会場のお客様が楽屋まで訪ねてきて「まったく同感です。あまりにもコンクールのために歌いすぎていて気になります」と言われました。これは日本全国同じ状況で、コンクール参加者全てが心すべきことではないかと感じました。



合唱コンクール報告

2日間開催による余裕

合唱コンクール実行委員会 鈴木章司

去る9月3日(土)、11日(日)に第48回神奈川県合唱コンクールが神奈川県立音楽堂で開催されました。

昨年の苦い経験を生かして、変則的ながらも2日間開催にしたことで、余裕のある運営に成功し昨年よりも更によりコンクールに出来たと思います。

各部門の成績は以下の通り。

中学混声

金賞・県代表
・茅ヶ崎市立松林中学校合唱団
・横浜市立緑が丘中学校合唱部
銅賞／川崎市立白鳥中学校
川崎市立柿生中学校

中学同声

金賞・県代表
・清泉女学院中学校＝☆最優秀賞
銀賞／聖ヨゼフ学園中学校合唱部
横浜市立豊田中学校合唱部
銅賞／大和市立つきみ野中学校

高校A

金賞・県代表
・清泉女学院高等学校
・日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ
銀賞／桐蔭学園女子コーラス部、県立秦野南が丘高等学校合唱部、慶應義塾湘南藤沢中等学校合唱部
銅賞／県立大船高校合唱部、県立伊志田高等学校合唱部、神奈川学園中学・高等学校女声合唱団、相洋高校コーラス部

高校B

金賞・県代表
・県立多摩高等学校合唱部
・北鎌倉女子学園コーラス部
・県立弥栄東・西高校合同合唱団
銀賞／県立生田高校グリークラブ

大学A

銀賞・県代表
・東海大学文化部連合会グリークラブ

職場

銀賞・県代表
・日立コール・システム・プラザ

一般A

金賞・県代表
・クール百音
・Trinity
・かながわフリーダムシンガーズ
金賞・ヴォーカルアンサンブル未生(Myuu)
銀賞／EnsembleHama 合唱団ヴォック
銅賞／ラ・カンパネラ、合唱団ブレアンブルム、女声合唱団横浜木せい会
賞無／ChoirNuts 湘南コーロ・ステラ、フランスブーランク合唱団、混声合唱団苔の花

一般B

金賞・県代表
・小田原少年少女合唱隊
・合唱団たまと
銀賞／コール・キリエ、女声合唱団藍の会、横浜ルミナスコール
賞無／名前のない合唱団

シード団体

・鎌倉女子大学合唱団
・マルベリー・チェンバークワイア(全国シード)
(校名、団名等紙面の都合上一部割愛しています。)



第28回

全日本おかあさんコーラス全国大会 結果報告

カノン編集部

去る8月27日(土)・28日(日)の両日、長崎県の「長崎ブリックホール」大ホールにて第28回全日本おかあさんコーラス全国大会が開催されました。選考委員と神奈川県関係の団体の成績は以下の通りです。

選考委員：浅井敬壹（合唱指揮者）
岩井理花（声楽家）
佐竹 毅（舞台演出家）
信長貴富（作曲家）
柳沢京子（きりえアーティスト・詩人）

おかあさんコーラス賞
・女声合唱団クール・クロア
・ボカ・グランデ

第12回

中高校生のための ヴォーカルアンサンブル コンサートへのお誘い

年末の恒例行事「中高生のためのヴォーカルアンサンブルコンサート」のご案内です。参加はもちろん、中高生の自由な歌声をお聴きになってください。

- ① 二声部以上のアンサンブルなら、各パート1名からの参加が可能です。つまり、最小で2名からの参加が可能です。曲目もジャンルに関わらず、幅広く選曲できます。
- ② 一校から複数チームの参加が可能です。
- ③ お互いの演奏を講評しあうため、学校ごとに「メッセージカード」を割り当てますので、親睦が深まります。
- ④ 一般の方の観覧も自由にできます。

日時：12月26日(月)10時開演
[出演数により開演時刻は変動します。]

会場：清泉女学院講堂 [JR大船駅西口より「清泉女学院」行きの神奈中バスに乗車。]

参加費：1チームにつき2,000円。

入場無料

主催：神奈川県合唱連盟

多くの学校の参加をお待ちしております。

□ 問合せ先

神奈川県合唱連盟事務局

TEL& FAX 045-681-6033

実行委員長 金子佳弘

TEL 044-987-0519 / FAX 044-986-0335

[桐光学園内]

冬の合唱講習会へのお誘い

今回は、近年国内外の様々な合唱コンクールで華々しい成績を残し「世界合唱シンポジウム in 京都」に招待合唱団として参加した『ヴォーカルアンサンブル《EST》』の指揮者、三重県立宇治山田高等学校合唱部の指導者としても活躍する向井正雄氏による講習会です。

小グループのアンサンブル、中学・高校の合唱部員或いは指導者の方、この機会に是非お集まり下さい。

日時：2006年1月29日(日)

会場：地球プラザホール

JR本郷台駅下車「地球市民かながわプラザ」

内容等詳細未定 ※詳細は後日お知らせします。

聴講料=有料

お問い合わせは、合唱連盟事務局まで。



合唱センターからのお知らせ

企画展示「コダマする書棚」

社団法人全日本合唱連盟附属合唱センター資料室では、10月5日(水)より下記のとおり、企画展示「コダマする書棚」を開催いたします。この展示では、人物がそれぞれ自由な発想で資料を選択、それぞれの今の思いを映す書棚が再現されます。人物のもつ美的感性が、受け手の創造力を引き出し、新たな芸術活動の展開へと繋がることを目的に企画いたしました。また「うつくしいもの」が日常にあることを、呼吸するように自然な生活の中で感じていただければと思っております。

「コダマする書棚」開催概要

第1回 大谷研二氏（指揮者）

10月5日(水)～15日(土)

社団法人全日本合唱連盟附属合唱センター資料室

開館時間＝1:00 p.m.～6:00 p.m.

休館日＝日曜日、月曜日、祝日

入館料＝無料

交通案内＝JR「恵比寿駅」東口または

地下鉄日比谷線「恵比寿駅」1番出口より徒歩3分

引き続き、樋口隆一氏（音楽学者）、Maria Guinand 史（指揮者/ベネズエラ）による展示を予定しております。詳細については、当資料室のホームページに掲載いたします。

●お問合せ●

社団法人全日本合唱連盟附属合唱センター資料室

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-5-8

柳沼ビル6階

tel: 03-3440-1172 (火曜-土曜 13:00-18:00)

fax: 03-5421-7151

e-mail: jmr@jcanet.or.jp

担当：露木

神奈川県合唱連盟加盟団体

コンサートガイド

2005年10月～



☆9月20日までに編集室へお届けのあった分について掲載しました。

☆次回締め切りは12月20日。発行は来年1月10日の予定です。

10月	22日 (土) 開演 14:15	座間女声合唱団 創立20周年記念演奏会 ◇「Ave Maria」 G Caccini作曲 ◇「Maria Wiegand」 M Rege作曲 ◇「Ingra Sun」 P Casa作曲 ◇「ねむの花」 中田喜直作曲 ◇「小鳥の旅」 三善晃作曲 指揮:伊集院俊光 ピアノ:北村智子 会場:海老名市文化会館小ホール お問い合わせ:伊藤久子さん 046-256-0384 入場料:800円
	30日 (日) 開演 14:00	湘南男声合唱団 第4回演奏会 ◇Miss:Aftema Christ Munera(ミサ曲 キリストの永遠の贈り物) パレストリーナ作曲 ◇多田武彦セレクション 「眠りの誘ひ」「片恋」「紺屋のおろく」「ほか ◇仲間とうたう世界の歌 「ロンドンデリーの歌」「コンドルは飛んでゆく」ほか 指揮:伊集院俊光 ピアノ:水野玲子 会場:藤沢市労働会館 お問い合わせ:小林さん 0466-35-6098 与田さん 046-272-5825 入場料:1,000円
11月	3日 (木・祝) 開演 17:00	横浜オラトリオ協会合唱団 第69回定期演奏会 ◇混声合唱とピアノのための「花と鳥と木々の歌」 立原道造作詩 林光作曲 ◇「レジーア・ミサ」 J・ハイデン作曲 指揮:中村皇 ピアノ:永川恵子 ソプラノ:佐竹由美 アルト:坂口直子 テナー:大島博 ベース:田代和久 会場:県立音楽堂 お問い合わせ:樋口さん 045-771-0961 入場料:1,500円
	4日 (金) 開演 18:30	コーロ・トレフル 第7回演奏会 ◇近藤春恵作曲集 女声 同声 合唱曲 「山みちのうた」「雪の城」「秋の野」他 ◇同声合唱のための宗教合唱曲集 コチャール ミクローシュ作曲 ◇女声合唱のための四つの沖縄の歌 中村透作曲 他 指揮:松阪照子 ピアノ:大竹摩美子 会場:神奈川県民ホール・小ホール お問い合わせ:三浦和美さん 044-355-1954 入場無料

11月

5日
(土)
開演
18:00**混声合唱団小田原木曜会 第30回記念定期演奏会**

◇混声合唱組曲「滅びの美学」平家物語より 山本純ノ介作曲=委嘱作品
 ◇混声3部合唱曲「風の夏」 島潟朋美作詩 松下耕作曲
 ◇無伴奏混声合唱のための「懐かしいアメリカの歌」 湯浅譲二編曲
 ◇混声合唱組曲「21世紀のヒーロー」 小野寺美穂他作詩 安藤由布樹作曲
 指揮:辻志朗
 ピアノ:近岡直人
 会場:小田原市民会館大ホール 入場料:1,000円(全席自由)
 お問い合わせ:吉田廣子さん 0465-22-6788

18日
(金)
開演
18:30**横浜あんさんぶるこすもす演奏会**

◇「Mass for three voices」 W./バード作曲
 ◇「南島歌遊び」より 福島雄次郎作曲
 ◇「Esti dal」他 Z.コダーイ作曲
 ◇「曼珠沙華」他
 指揮:湊晋吾
 賛助出演:横浜稲門グリークラブ
 会場:横浜みなとみらいホール小ホール 入場料:1,000円
 お問い合わせ:友杉さん 045-363-8019

19日
(土)
開演
14:00**コーロ・セレーナ 第3回演奏会**

◇「童話絵巻」より 岩河三郎編曲
 ◇ア・カペラコーナー 「いちもんめの一助さん」他
 ◇「二度とない人生だから」より 鈴木憲夫作曲
 ◇「すばらしき自然とともに」より 中田喜直作曲
 指揮:斉藤四郎
 ピアノ:片野敦子
 会場:横浜みなとみらいホール小ホール 入場料:1,000円
 お問い合わせ:五十嵐敏子さん 045-582-3362

20日
(日)
開演
14:00**横浜混声合唱団 ～第15回オフオフ合唱コンサート～ 『ふたつのメモリアル』**

◇アンデルセン・ファンタジー～アンデルセン生誕250年記念～
 合唱組曲「マッチ売りの少女のおはなし」磯部俣作曲
 (混声版初演=磯部周平編曲)ほか
 ◇中田喜直・メルヘン～中田喜直没後5周年記念～
 合唱組曲「おかあさんのばか」・「海の童話」ほか
 指揮:吉田孝古磨 ピアノ:須江太郎 ナレーション:武石法子
 会場:関内ホール 入場料:1,500円(自由定員制)
 お問い合わせ:北島さん 045-262-2508 <http://www.k2.dion.ne.jp/~yokokon/>

20日
(日)
開演
14:30**ボカ・グランデ 第12回定期演奏会**

◇イタリア古典歌曲集
 ◇女声合唱とピアノのための「愛の詩集」 谷川俊太郎他作詩 松下耕作曲
 ◇女声合唱組曲「水のいのち」 高野喜久雄作詩 高田三郎作曲
 ◇クラシカル・コレクション(仮題)
 指揮:石井康男
 ピアノ:久野圭子
 会場:鎌倉芸術館大ホール 入場料:1,000円
 お問い合わせ:及川さん 0467-32-4464 後藤さん 0467-32-8215

12月	3日 (土) 開演 14:00	レーベンフロイデ合唱団 第8回定期演奏会 ◇レーベンフロイデ愛唱歌集より ◇フォスター名曲集〜ロジェ・ワグナーより〜 ◇混声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」 源田俊一郎編曲 ◇混声合唱組曲「方舟」 大岡信作詩 木下牧子作曲 指揮:乾健太郎 ピアノ:花光典子 児山卓史 会場:海老名市文化会館小ホール 入場料:1,000円(全席自由) お問い合わせ:佐藤さん 046-233-4727 HP:http://leben.ebi-chor.com/
	10日 (土) 開演 14:00	鵜沼エコー 第7回定期演奏会 ◇「白いうた、青いうた」より 新実徳英作曲・編曲 ◇「わたしは風」 木下牧子作曲 ◇ディズニー・メドレー ◇日本のわらべうた・民謡 「四国ばやし」「どんたくばやし」他 指揮:小濱明 ピアノ:半田規子 会場:神奈川女性センター(江の島) 入場無料 お問い合わせ:関根玲子 0466-23-5423
	10日 (土) 開演 18:30	湘南レグルスエコー 2nd Concert ◇「Like a rainbow」 B.Chilcott作曲 ◇「わたしと小鳥とすずと」 金子みすず作詩 松下耕作曲 ◇「ことわざうた」より 鈴木憲夫作詩・作曲 ◇「思い出すために」 寺山修司作詩 信長貴富作曲 指揮:浅野深雪 ピアノ:田畑ゆみ 賛助:劇団湘南山猫 会場:茅ヶ崎市民文化会館小ホール 入場料:1,000円 お問い合わせ:蒲山(かばやま)恵子さん 0467-82-4467
	11日 (日) 開演 16:30	コール・アザレア クリスマス チャリティーコンサート ◇「O vos omnes」他 コチャール・ミクローシュ作曲 ◇「紀の国のこどものうた」より「合唱のためのたのしいエチュード」より 松下耕作曲 ◇クリスマスソングメドレー 指揮:河田那弥子 オルガン:黒川貴代 ソプラノ:長谷川沙紀 会場:茅ヶ崎カトリック教会 入場無料 お問い合わせ:大貫佳子さん 0467-74-1248
	15日 (木) 開演 19:00	Trinity 5th Concert ◇「聖母への祈り」 松下耕作曲 ◇「7つの子ども歌」より 信長貴富編曲 ◇「二つの御田植歌」 千原英喜作曲 ◇コチャール ミクローシュ作品集 ◇木下牧子作品集 指揮:平井保 会場:みなとみらいホール小ホール 入場料:1,500円 お問い合わせ:遠藤さん 090-2722-3538 mail:Trinity1999_12@hotmail.com HP:http://homepage2.nifty.com/trinity1999/

12月	25日 (日) 開演 14:00	ほどがや少年少女合唱団コンサート～ひとつ残ったプレゼント～ ◇「世界中のこどもたちが」「バケツ100ぱいのなつやすみ」「ともだちになるために」 「ママと冷蔵庫の秘密」他 新沢としひこ作詩 中川ひろたか作曲 ◇少年少女 女声のための合唱組曲「あしたの灯」 門倉訣作詩 吉岡弘行作曲 ◇ミュージカル「ひとつ残ったプレゼント」 脚本:鈴木ひろみ ディズニー・ソングより「小さな世界」「サークル・オブ・ライフ」「ララルー」「ハイホー」他 指揮:福田美知子 ピアノ:橋本麻子 Per.:鈴木廣祐 kyb.:高瀬佐知子 会場:保土ヶ谷公会堂 入場料:1,000円(幼稚園以上) お問い合わせ:福田美知子さん 045-332-4117(夜間のみ) 岩田恵美さん 045-363-6502
	25日 (日) 開演 16:00	厚木混声合唱団 第17回定期演奏会 ◇世界のうた ◇混声合唱組曲「知床のうた」 関根榮一作詩 寺島尚彦作曲 ◇とどけこの歌声を!～平和への願いをこめて～ 「Sing」「緑陰」「君をのせて」「宇宙戦艦ヤマト」「世界に一つだけの花」「Believe」 ◇ミサ曲「八長調 K.317」「戴冠ミサ」 W.A.Mozart作曲 指揮:近藤允弘 ピアノ:林善子 管弦楽:双葉シンフォニエッタ 電子オルガン:伊藤佐智 会場:厚木市文化会館大ホール 入場料1,000円(高校生以下 500円) お問い合わせ:篠塚謙司さん 046-291-0393
2006年 1月	22日 (日) 開演 14:30	川崎混声合唱団 創立45周年記念 第40回定期演奏会 ◇混声合唱のためのカンタータ「土の歌」 大木惇夫作詩 佐藤眞作曲 ◇混声合唱組曲「五つのこどものうた」 大中恩作曲 ◇団員創作曲集 他 指揮:相原末治・小笠原吉秀 ピアノ:遠藤有子 会場:麻生文化センター大ホール 入場料:1,000円(全席自由) お問い合わせ:鈴木初太郎さん 044-422-2307
	29日 (日) 開演 14:00	クール・コメール 第13回コンサート“f”～創立30周年を迎えて～ ◇九州民謡「おてもやん」他 十時一夫編曲 ◇アイルランド民謡「ロンドンデリーの歌」他 鷺見五郎編曲 ◇女声合唱組曲「二度とない人生だから」 鈴木憲夫作曲 ◇ミュージカル・ナンバー 「Memory」他 吉田孝古磨編曲 指揮:吉田孝古磨 ピアノ:金子雅代 会場:横浜みなとみらいホール小ホール 入場料:1,000円 お問い合わせ:木村さん 0467-74-0621 沖浦さん 0467-54-7136

☆ コンサートガイド掲載要項

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを無料で掲載することが出来ます。是非ご利用ください。掲載希望の方は下記の項目を記したものを郵送かFAX、またはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。(送り先は巻末に記載)

掲載項目: 1. 開催日時 2. 合唱団名(会員番号も列記してください) 3. 演奏会名称
4. ステージ・曲目(作詩・作曲者名も記してください。紙面の都合で全て載せられないことがあります)
5. 出演者 6. 会場 7. 入場料金等 8. 問い合わせ連絡先

※カノン発行月と原稿締め切りの予定

春号 4月10日発行予定 (〆切り: 3月20日) 夏号 7月10日発行予定 (〆切り: 6月20日)
秋号 10月10日発行予定 (〆切り: 9月20日) 冬号 1月15日発行予定 (〆切り: 12月20日)

編集後記

世界合唱シンポジウムが終わって、しばらくは抜け殻のようになってしまった。これは一種の「燃え尽き症候群」だと分かっているが、担当のコンクールが迫る。今年は出場を断念したのが幸いして、何とかやり遂げることが出来たが、毎度の事ながら薄氷を踏む思い。鴨川の川床でハモを食べたのも生ビールが無かったせいでリベンジを誓うことになるし、京都に行きたい病にもなっている。冬の京都はいいんだよねえ。。。で、シンポジウムが終わって一番困ってるのは。。。カノンのネタが一つ減ってしまうこと！

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon（カノン）」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

神奈川県合唱連盟・事務局

発行責任者 桑原妙子

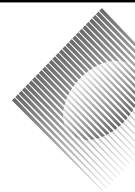
〒231-0021

横浜市中区日本大通15 朝日会館ビル4F

045-681-6033 (FAXとも)

ホームページURL: <http://homepage2.nifty.com/kanagawakenren/>

eメールアドレス: kanagawakenren@nifty.com



**Japan
Choral
Association
KANAGAWA**